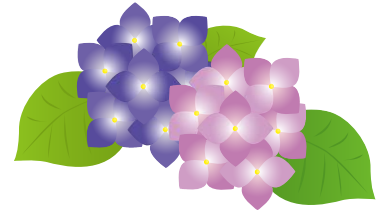


アジサイ



科名：ユキノシタ科アジサイ属
園芸分類：落葉低木

【置き場所】

開花株の鉢植えは室内の明るいところで花を楽しんでいただけます。

赤及びピンク系のアジサイは比較的日光を好み、日に当てた方がきれいな花色が出ます。

但し強い直射日光は水が下がりやすくなり、葉焼けの原因にもなりますので注意してください。

また、寒冷地ではある程度の防寒が必要です。

花後についた翌年の花芽が寒さや霜で枯れ、翌年花が咲かないこともあるので注意してください。

【水やり】

表面が乾いて来たら早めにたっぷりと与えてください。

水切れは株を傷め、あじさいを枯らす一番の原因になりますので注意しましょう。

鉢の側面に水をためる穴が開いている**底面給水式の鉢の場合は鉢底の受け皿に常に水が入っているように注意し、1週間に一度は上から鉢土にもタップリと水を与えてください。**

水枯れがひどい時は、バケツに水をはって1晩つけておくと回復します。

【植え替え】

植付け、植替えの時期は基本的には3月から4月または秋が安全です。

あじさいの花色は土の酸度によって色が変わります。

青系のあじさいは酸性土(ピートモス、鹿沼土などを混ぜ込む)にします。

赤及びピンク系のあじさいは中性～弱アルカリ性の土(苦土石灰、草木灰などを混ぜ込む)にすると花色がきれいに出来ます。

また地植えにする場合、葉からも水分が蒸発するのと、根が浅い場所に伸びる性質があるため、水やりが追いつかず、しっかり根づかないこともあります。

【肥料】

春先の芽出しの頃と、花後に与えます。

鉢植えの場合は緩効性化成肥料を、庭植えの場合は配合肥料や化成肥料を与えて下さい。

また肥料によっても多少花色が変わるようです。

チッソ・リン酸分が多いと赤く、カリが多いと青くなるようです。

【せん定】

あじさいは秋に充実した枝の先に花芽を作ります。秋までに枝の充実を図る為に、**花後の剪定はなるべく早く行います。剪定の時期が遅れると、充実期間が短くなり、花芽がつきにくくなります。**

剪定が遅れ、秋に株を切り詰めるとせっかく出来た花芽を切り落としてしまうことになります。

秋まで色変わりを楽しんだ花は、花だけを摘んでください。強剪定は避けます。

【栽培のポイント】

あじさいの花が咲かないという声を聞きますが、せん定時期の誤りや水やり不適切なみずやり、極端な日照不足等が原因の大半を占めているようです。

※当サイトの情報を転載、複製、改変等は禁止いたします。(株)エムワイ企画